

研究分野	受験番号	

平成 26 年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験〔建築史〕

- 設問 1-1 別紙「図版群」の図①～⑩について、以下の問いに答えなさい。
- ・ その名称を別紙「建築名称群」から選んで「欄 I」に記入しなさい。
 - ・ その建設時期と特徴を「欄 II」で説明しなさい。

	欄 I	欄 II
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

- 設問 1-2 以下の用語の中から 2 つを選択し、その意味を論じなさい。
- ・ 組物
 - ・ 条坊制
 - ・ 大仏様
 - ・ 書院造
 - ・ 畳割
 - ・ 町家
 - ・ 擬洋風建築
 - ・ 同潤会
 - ・ 最小限住宅
 - ・ 51C型

選択した用語：

選択した用語：

研究分野	受験番号	

平成 26 年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修士課程選抜試験〔建築史〕

設問 1-1 図版群

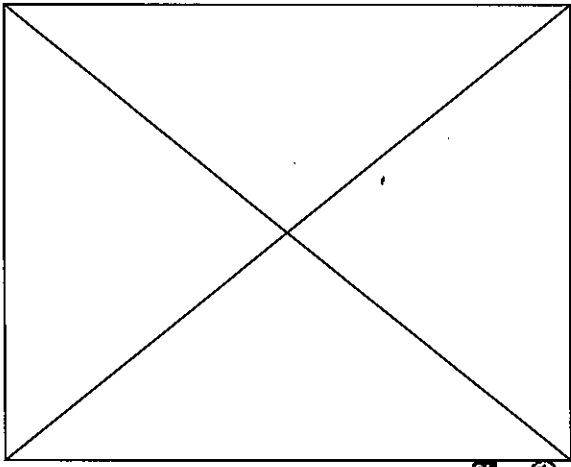


図 ①

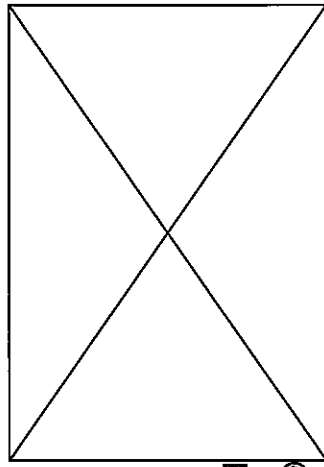


図 ②

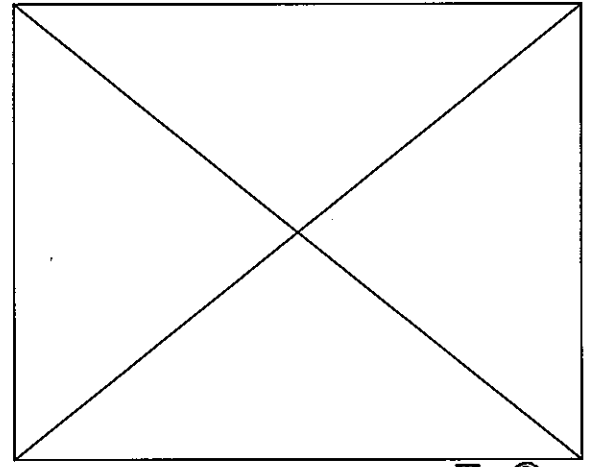


図 ③

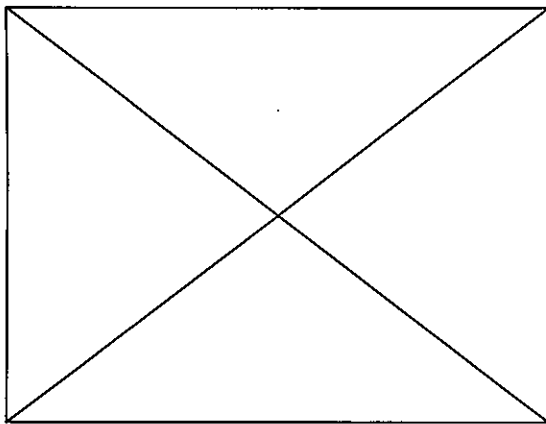


図 ④

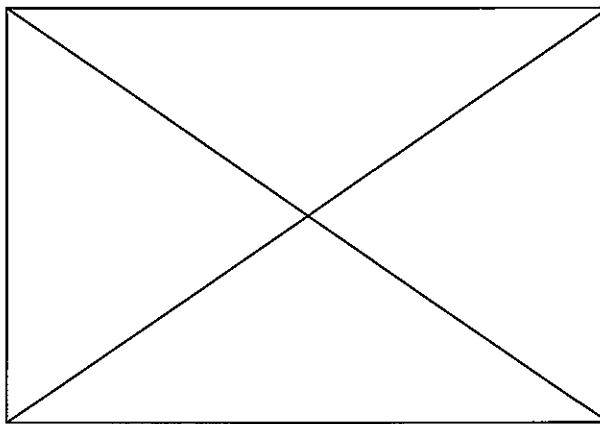


図 ⑤

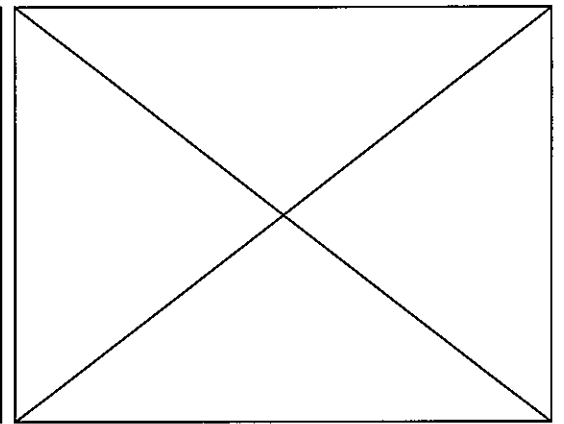


図 ⑥

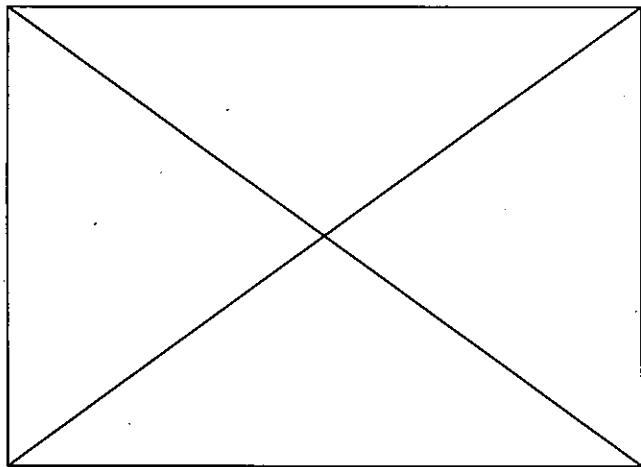


図 ⑦

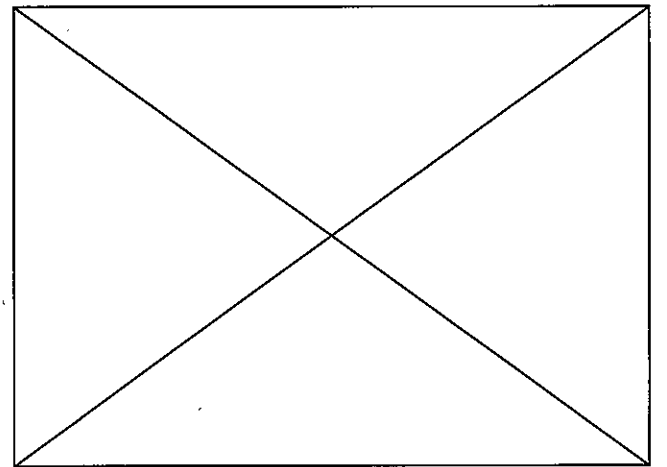


図 ⑧

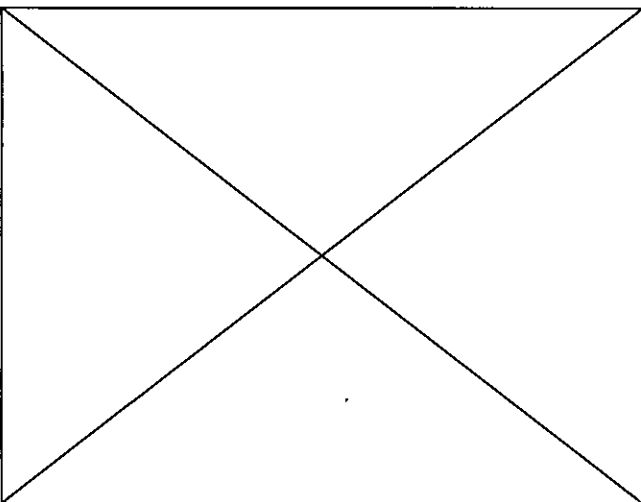


図 ⑨

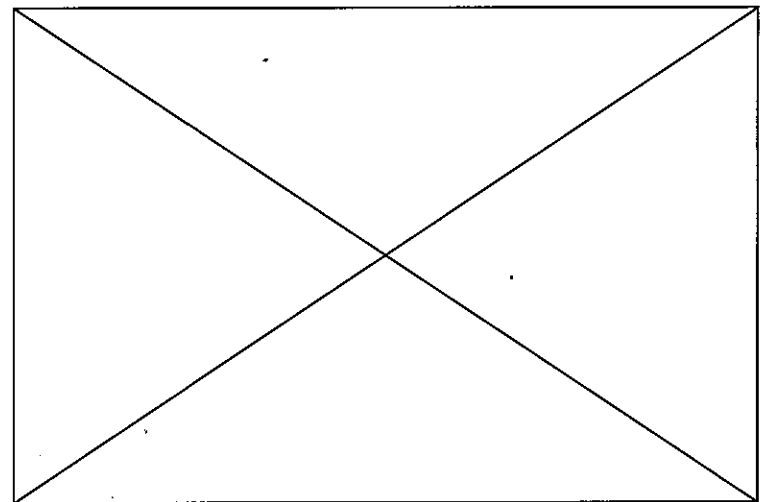


図 ⑩

設問 1-1 建築名称群

- | | | | | |
|----------|---------|-----------|------------|-----------------|
| ・法隆寺金堂 | ・法起寺三重塔 | ・孤蓬庵忘筵 | ・町家(吉島家住宅) | ・鶴林寺本堂 |
| ・唐招提寺金堂 | ・龍吟庵方丈 | ・パリ万博日本館 | ・住吉大社本殿 | ・農家(作田家住宅) |
| ・吉田五十八自邸 | ・如庵 | ・国立京都国際会館 | ・三菱1号館 | ・軽井沢の山荘(吉村順三山荘) |
| ・薬師寺東塔 | ・明治生命館 | ・大報恩寺本堂 | ・桂離宮新御殿 | ・出雲大社本殿 |

研究分野	受験番号	

平成 26 年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問 2-2 初期キリスト教建築とビザンティン建築から、プレロマネスクを経て、西暦 1000 年以降のロマネスク、ゴシックに至るキリスト教聖堂建築の流れを記述しなさい。

The image shows a large rectangular grid with 25 columns and 20 rows, intended for writing the answer to the question.

研究分野	受験番号	

平成26年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [英語]

PART 1 - (1) と (2) を和訳しなさい。

(1)

(2)

出典 : Peter Zumthor
 Published in: 'Peter Zumthor Thinking Architecture', 3rd Edition, 2010
 Published by Birkhauser.

PART 2 - (3) と (4) を英訳しなさい。

(3)

(4)

出典 : Ryue Nishizawa.
 Published in: 'Architecture + Urbanism' 2013.05, number 512
 Published by A+U Publishing Co. Ltd.

研究分野	受験番号	

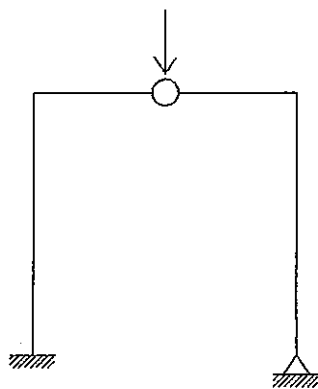
平成26年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

[1] 架構の応力と変形 (配点 5点 x 12)

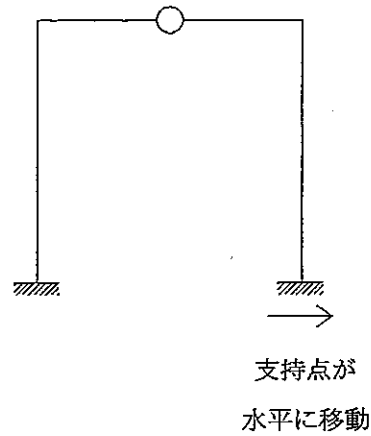
次の架構の応力図(N、Q、M)と変形図を記入せよ。変形図には反曲点位置及び曲げ変形方向を明記すること。

* 解答は、解答用紙一1に書くこと。

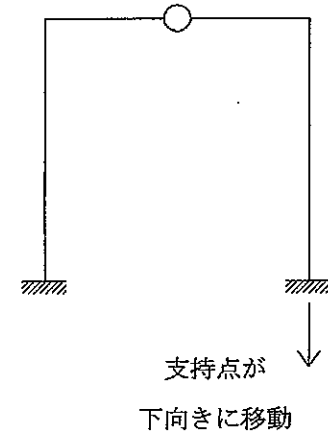
(A)



(B)



(C)



[2] 架構と構造用語 (配点 10点 x 4)

次の用語の意味を説明し、それに該当する実在する建築物を例としてあげよ。

* 解答は、解答用紙一2に書くこと。

(a) アーチ構造

(b) トラス構造

(c) 組積造

(d) 免震構造

研究分野	受験番号	

平成26年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

解答用紙一1

[1] 架構の応力と変形

(A)

(B)

(C)

N図

Q図

M図

変形図

研究分野	受験番号	

平成26年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

解答用紙一2

[2] 架構と構造力学用語

次の用語の意味を説明し、それに該当する実在する建築物を例としてあげよ。

(a) アーチ構造

(b) トラス構造

(c) 組積造

(d) 免震構造

研究分野	受験番号	

平成26年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [設計実技試験]

[問題文]

課題：源兵衛川の新しい“カワバタ”

水の都・三島市（静岡県）の源兵衛川は富士山麓の湧水をたたえた清流で、市街地を流れる川とは思えないような清らかな水質と豊かな河川環境を保っています。現状の源兵衛川のみを知る世代には信じられないことかもしれませんが、源兵衛川は、かつてドブ川として見向きもされない時代がありました。もともとは共同の洗い場が設えられているような生活に密着した川であったのが1960年代頃までで、その後、上流域での地下水のくみ上げによる水量の減少や、家庭用雑排水の流入、ゴミの放置などにより水辺環境は極度に悪化したのです。

ところが、1990年農林水産省の「農業水利施設高度利用事業」に採択されたことをきっかけに、源兵衛川水環境整備事業により“カワバタ”（川端）や川の中の遊歩道の整備、近隣企業から不要となった地下水を放水してもらい協力を得て、美しい環境を取り戻すことに成功しました。同時にNPO、地域住民、河川の専門家、行政らによる身近な環境改善活動がはじまり、いまではゲンジボタルやオニヤンマなどが生息する豊かな水辺空間が再生されています。

そんな源兵衛川は、特に夏場では、子供達をはじめとする地域住民の格好の遊び場になります。冷たく、清らかな水や木陰をもとめて老若男女が身近な川辺に集う姿は本当に楽しげであり、自然環境と都市生活とが絶妙にバランスした、理想的な生活環境が展開されています。

さて、そのような源兵衛川沿いに、人々が気軽に集うことのできる“カワバタ”を計画してください。

核となる機能はNPO（複数ある）の環境改善活動の詰め所ですが、それ以外の機能を追加することで、NPOだけでなく、多くの地域住民に利用されるような施設を目指してください。水道のない時代の“カワバタ”は個人が炊事や洗濯のために立ち寄る場所であり、結果として地域住民のコミュニケーションの場所として機能していました。そうした過去の“カワバタ”を乗り越えるようなゆたかさをもつ、今の時代に求められる“カワバタ”を提案してください。

さらに、源兵衛川の魅力である自然環境と都市生活との絶妙なバランス感を、よりいっそう際立たせるような計画としてください。

設計条件：

(1) 面積、機能

- ・必要諸室：NPO詰め所（50㎡程度）、トイレ、倉庫
- ・提案諸室：自由
- ・延床面積300㎡程度とする（屋外は除く）

(2) その他

- ・計画範囲は敷地図2の一点鎖線内とする。
- ・源兵衛川と公園にはデッキや東屋等を計画することは可能だが、壁をもつような室内をつくることは出来ない。
- ・駐車場は不要。
- ・駐輪場の提案など、周辺住民の利便性を高めるような施設があることは望ましい。

[提出物]

- ・設計趣旨（以下の①②に留意して1000字程度で記すこと）
 - ①地域住民のコミュニケーションの場としてのあり方
 - ②源兵衛川の魅力の際立たせ方
- ・配置図（1階平面図を兼ねる） 1:100
 （建築物のみならず計画指定範囲すべてを計画し表現すること）
 - ・各階平面図 1:100
 - ・断面図 1:100
 - ・立面図 1:100
 - ・内観パース
 - ・外観パース
 - ・面積表（建築面積、延床面積）
 →以上1、2をA1判画紙2枚以内にまとめる。縦横使い自由。着彩自由。
- ・エスキス時のスケッチ
 →A3判普通紙にまとめる。枚数自由。縦横使い自由。着彩自由。

[日程]

9月21日（土） 9:00～17:00 設計製図
 （ 12:00～12:40 休憩 ）

[配布品]

提出用 A1 判 画紙 2 枚
 提出用 A3 判 普通紙 5 枚
 エスキス用 A2 判 トレーシングペーパー 3 枚
 着彩試し塗り用 A2 判 画紙 1 枚

